

中学生・高校生の社会認識について  
—社会認識調査報告（その3）—

筑波大学附属駒場中・高等学校社会科

岡本 忠篤，小澤 正晴  
城戸 一夫，小林 汎  
坂根 義久，澤登 岩尾  
林 幹一郎

# 中学生・高校生の社会認識について

——社会認識調査報告（その3）——

岡本 忠篤，小澤 正晴  
城戸 一夫，小林 汎  
坂根 義久，澤登 岩尾  
林 幹一郎

1. 調査のねらいと経過
2. 今回の調査の概要
3. 分析と考察
4. ま と め
5. 設問の回答と集計結果

☆

☆

☆

## 1. 調査のねらいと経過

社会科の共同研究として、この社会認識調査を実施して今回は第3回目である。第1回目は78年度に予備調査として、本校の中学生・高校生の6学年を対象に実施した。その結果は「研究報告 第18集（1979年3月）」に報告した。また第2回目の本調査は翌年の79年度に、予備調査同様、本校生徒6学年を対象に実施し、その結果は「研究報告 第19集」（1980年3月）に報告した。

この2回の社会認識調査の狙いは、第1は、中等教育における社会科の学習を通して「社会認識」がどのように形成され、変化するのか、中高6年間の変化から類推していくことであり、さらに、そこから「社会認識」の形成・発達と教科としての社会科の関わりを明らかにすることであった。第2は「現代社会」を導入するにあたって、中等教育の前期と後期との結節点としての「現代社会」に何を期待すべきかを考えるための基礎データとして、中高生の意識の実態をつかむ必要があると考えたからである。

ところで、「社会認識」とは何かの定義づけは、十分に出来ていると言いがたいが、一応、社会事象に関心を持ち、それらの中から本質をつかみ取る、即ち法則的に捉える能力であり、主権者としてより良い社会を実現していく力となりうるものであると考えた。

「社会認識」を認識の深まり、認識の発展段階において一応段階に区切ると、第1に、事実を正しく見ているか、即ち事実認識がしっかり出来ていることが基本としてあろう。第2に、ある事柄をどの様に見ているのか、考えているのか、即ち、物の見方、考え方の問題があろう。第3に、それらの事柄について、本当にその様な見方、考え方で良いのかを疑問に感じ、より深く見

ようとし、考えようとする能動的働きが必要となろう。さらに第4に、そこに自分をどのように関わらせようとしているのか、主体的な生き方の問題があろう。

前々回、前回の2回の調査結果のまとめとしては次の6点があげられている。

- (1) 78年度と79年度の調査によって、学年進行にともなう社会認識の深まりを確認することは困難である。歴史認識、地理的認識、人権意識、経済民主主義の観点などにおいて、社会認識の一定の部分的な深まりを読みとることはできたが、期待する水準からみればまだ不十分である。さらに、平和主義政治的民主主義、文化などでは、社会認識の深まりを確認するにいたっていない。  
学年進行とともに、事実認識が深まることは確かめられるが、考え方の面からみた社会認識が発展しているとはいいがたい。
- (2) 本校社会科では、実践的態度を知識・理解とともに、社会認識の一側面とみなしているが、この面からみても、学年進行にともなう発展を確認することができなかった。
- (3) 両側面からみた社会認識が、なぜ発展していると確認できないのか。また、学年の個性がかなり強く、とくに中と高とで、社会認識の相対的な高さをみせているが、なぜなのか。こうした問題は、授業実践とときはなしたアンケート調査だけで解くことはむずかしい。
- (4) 次年度以降、社会認識向上のための授業実践と実践研究が必要である。また、調査結果を取り入れたカリキュラムが必要である。
- (5) 次年度は、社会認識調査を続けると同時に、社会認識育成のためのカリキュラムを「現代社会」を中心にして検討していく必要がある。
- (6) 第1年度・第2年度は本校生徒だけを調査の対象としたが、次年度以降、他校との協同調査が必要である。

こうしたまとめを受けて、今回の調査は、質問項目を再検討し、他校の協力を受けて実施した。質問項目の再検討に当っては、第1に「タテマエ」の回答ではなく「ホンネ」の回答が得られる様に、質問に具体性を持たせる様に試みた。第2に、質問それ自体の内容、文章等が、かなり難しいと思われたので、一般の中学生が読解できるものへと、できるだけ平易に表現する様に試みた。第3に、知識を必要とする質問項目はできるだけ避けるようにした。第4に、社会生活全般に関わって幅広く聞くように試みた。

以上の点をふまえて、質問項目の手直しを試みたがまだ十分なものではなく、第3回目の試行調査と考えてもらいたい。

## 2. 今回の調査の概要

- 調査項目は50項目、マークシート方式を採用し、十肢択一で行う。
- 調査時期 1981年1月～2月
- 調査対象 中学生 512名 (内女子 101名)
  - 中1 199名 (本校生 117名)
  - 中2 157名 ( 〃 117名)
  - 中3 156名 ( 〃 114名)

高校生 727 名 (内女子 207 名)

{ 高 1 422 名 (本校生 162 名)  
 高 2 305 名 (本校生 146 名)

協力校は、足立区立入谷中学校、私立吉祥女子中学校・高等学校、都立府中高等学校 (全日制普通課程)、都立広尾高等学校 (全・普) 都立武蔵丘高等学校 (全・普)、都立北豊島工業高等学校の以上 6 校。

今回の調査は、第 1 に実施時期の関係で高校 3 年生の資料がない。(但し、前回と同じ質問項目については、前回の本校高 3 の資料を参考としてあげておいた。) 第 2 に、本校以外の場合は、一校あたりの調査人数が限られており、各校ごとの特徴を出すには、統計の信頼性という点で多少問題がある。そこで、今回の調査結果は、本校生の学年別と、他校は数校を合計した学年別及び、必要に応じて男女別が明らかになるように統計処理をした。第 3 に、集計は本校の機械で処理する関係で、十肢択一の設問しか作成できず、多少設問自体に無理がある。第 4 に関連項目についてはクロス集計により検討する必要があるが、今回は試行調査の性格が強いので省いてある。

### 3. 分析と考察

紙面の都合で、ごく簡略にし、かつ、中高生の意識をよく反映していると思われる、いくつかのテーマに絞って分析・考察をする。従って、かなり不十分なコメントであることをご了承願いたい。

#### ア 社会科学習の目的 ([1])

社会科学習の本来のねらいは、「民主的平和的な社会をつくっていくための考え方や態度を身につけるため」であるが、これをあげた生徒は 2 割強で、しかも高では 1 割強である。一方高校では「受験のため」「教養のため」が多くなっている。社会科学習を割り切ってとらえている。こうした生徒の態度は、生徒の生き方 [2]~[5]、課題に対して自分がどう関わっていくのか [22] と密接に結びついている。社会科学習が大きな曲りかどに来ている。

#### イ 大切なもの、情熱の対象、生き方 ([2]~[5])

大切なもの、情熱の対象については省略して生き方について述べる。

現在の生き方については、「与えられた範囲で自分の生活を楽しむ」生徒が 3 割強あり、「自分のやりたいことを楽しむ」の 2 割弱をあわせると、半数の生徒が自己中心に日々の生活を楽しんでいる。また、「なりゆきに従う」生徒が 2 割も存在する反面、積極的に社会的な生き方をしている生徒は少ない。

将来の生き方については、3 割強の生徒が、よりよい社会の実現をめざして努力すると答えているが、現実のギャップは大きい。[22]で「大人になってから積極的に問題解決ができるような能力と態度を養っておく」が特に本校生徒に多いのとあわせて考えて見る必要がある。

一方、自己中心的な生き方と、なりゆきに従う生徒をあわせると、高校生では 4 割強に達する。

このことは、現代青年の典型的な生き方であると言ってしまうとそれまでであるが、社会科教育の狙いからすれば大きな問題であろう。学年進行で生き方が現実的になるのはあたりまえとしても、将来の展望が見えていない、あるいは逆に見えてしまったと考えている結果であろうか。

#### ウ 日本の課題・世界の課題（〔6〕～〔9〕）

十肢択一の制約があるにしても、学年差がないのは気になる。

日本の課題として、エネルギー・資源問題をあげている生徒が4割程度、安保・軍備・防衛問題・汚職・政治腐敗などがこれに続く。また公害環境の問題があがっており、協力校では非行の問題、物価の上昇などがあがっている。世界の課題ではエネルギー・資源問題、核・軍備問題、米ソ対立、公害・環境破壊問題などをあげており、現在、マスコミ等で大きく取り扱われているものが、ほぼ予想されるようにあがっている。

生徒の課題意識の形成がマスコミ等に左右されるのは止むをえないにしても、社会科の学習の中で深化されることなく終わっているとしたら、大きな問題であろう。

#### エ 平和と軍備について（〔10〕～〔21〕）

〔10〕だけは具体的に条件を設定し、聞いてみた。北方領土のソ連の基地が強化されたといわれていることにたいして、日本はどうすればよいかという質問である。丁度マスコミ等で取りあげられていた話題でもある。「話し合って争いをおこさない」が3割弱、次いで「平和条約を結ぶ」が2割強。「自衛隊を増強」「米軍基地をもうける」がともに1割以下となっている。自衛隊や米軍の軍事力増強という武力的な対決のしかたを望む生徒はわずかであり、逆に安保条約の廃棄を含む平和条約の締結や、話し合いといった平和的な対応のしかたを望む生徒が多い。一応、中・高生ともに冷静に受けとめているようだ。

「現在の日本は平和である」と一応考えている生徒は6～8割、高校生が高く、協力校は相対的に低い。一方「世界は平和である」と考えている生徒は1～2割であり、ギャップがある。

「国を守るために軍事力は必要か」に対して、反対5割弱、逆に賛成は3割弱、女性が若干低く、協力校が相対的に低くなっている。憲法の問題は、約半数の生徒の中で色あせてしまっている。

一方、「徴兵制」については、反対を考えている生徒は8割、賛成は1割にも達していない。中・高生ともに、軍事力を不必要とする者はもちろん、必要とする者の多くも、軍隊にとられることをいやがっている。自分が戦争参加とかかわる場合は反対だが、自分がかかわらなければ賛成という生徒がかなりいるわけである。戦争についての認識の甘さを示していよう。それは核実験についても、核の平和利用のためなら認められるべきと考えている生徒が本校では4～5割、協力校では2～3割と低いが、この辺の認識にも表わっていよう。

「憲法の平和的条項」については、日本の誇りと考えている生徒が5割を越えている。しかし、1割5分ほどの生徒がこの考え方を否定しており、どちらともいえないとする者も2割強いる。平和的条項を誇りとしなない生徒が4割も存在することは見すごすわけにはいかない。

#### オ 歴史認識について（〔23〕～〔30〕）

〔23〕で歴史の法則性を一定に認めるものが6～8割、（協力校の方が低い）存在する一方で〔29〕で歴史の偶然性を重視するものが3～5割、（協力校の方が高い）存在する。また〔27〕で「すべて時代が古いほど未開」と一応考えるものが4～6割存在する一方で、「宗教・美術などでは昔の方がすぐれていたものがある」と思っている生徒が7～8割存在する。

〔30〕で歴史の源動力として「民衆の力」を一応考えるものが6～7割存在する一方で、〔26〕の「英雄や偉大な人物」から学ぶ必要性を感じるものが4～6割存在する。設問のし方の問題もあると思われるが、生徒の歴史認識が未分化であり、不十分である事を物語っている。

#### カ 生活関連・社会福祉関係（〔33〕〔35〕〔39〕〔47〕〔48〕）

この6つの設問は、生活関連・社会福祉関係としてまとめたが、生徒が現実の生活で直面している、あるいは直面する可能性が大きく、その時自分の立場や考え方が鋭く問われる問題である。その事を考えて、具体的に聞く目的で、ある条件設定をした設問を考えた。

〔33〕のゴミ問題では、半数以上の生徒が自分の区で処理する事に賛成しており、いわゆる住民エゴが表面に出た考えは少なく、一応健全な見方をしている。もちろん、自宅の隣りに清掃工場が出来るとなればまた、別の反応をしたであろうが。

〔34〕の新幹線の騒音・振動等の問題に対して公共の福祉か、住民の権利・生活優先かを問うものである。4割強の生徒が後者の立場に立っているが、2～3割の生徒が前者の立場であり、さらに2割強の生徒が、「十分に補償金をとって、他の土地へ」と考えている。非常にドライな割り切り方をしているのが気になる。

〔39〕では、身体障害者の雇用の問題について聞いた。6～7割の生徒が「身障者の働ける作業所をひろげるなどの努力」の必要性を感じている事は健全な見方と言えよう。しかし本校生の高学年において、1割強の生徒が「やといたがらないのは止むを得ない」と考えているのは問題であろう。

〔47・48〕では、自分の親の老後の生活保障はどうあるべきか、及び、本人の老後の生活保障はどうありたいかを聞いた。4割強～6割の生徒が「自分の生活力に応じて」養う事を考えており、「どんなことをしてでも」という生徒は協力校の中学では多少高いが全体として2割程度であり、高学年程ドライに考えている。一方、自分自身の老後については4～5割の生徒が自分自身の力で考えており、子どもに養ってもらおうと考える生徒は少ない。生活実感が無いためであろう。老後の生活保障を社会的な権利の問題としてとらえている生徒が少ないのは気になる。

全体的に、自分達の身近な生活に関連する問題については、健全に考えているようである。

#### キ エネルギー・資源問題、人口問題について（〔35〕〔36〕）

設問の〔6〕～〔9〕で日本及び世界の当面している課題について聞いた。そこではエネルギー・資源問題、人口問題は高い割合を示していた。ここでは、生徒がこれらの課題をどの様にとらえているか聞いてみた。

〔35〕のエネルギー問題では具体的に価格の上昇の理由を聞いた。学校・学年差が多少見られるが、3～5割の生徒が「石油輸出国が団結して価格をあげた」という誤った理解しかしていな

い。正しい回答をしている生徒が本校高校生では4割弱いるが全体として2割程度しかいない事は、学校での社会科教育のあり方の問題である、と同時に、生徒の認識がマスコミ等で得たものの一面的、表面的理解の段階で留まっている事を示している。また、協力校の中学生の3割がわからないと回答しているのは設問にも問題があった。

〔36〕の人口問題では、4～5割の生徒が人口抑制政策を支持し、先進国の主張に近い考え方に立つものが6～7割であり、発展途上国の主張を認めるものは1割強にすぎない。

#### ク 世界の国々をどう見ているか (〔37〕〔38〕)

将来、住みたい国(地域)、住んでみたくない国(地域)はどこか聞いた。但し、十肢択一の制約があり、多くの国を取り上げる事は出来なかった。

住みたい国は日本が圧倒的であり、スイス、アメリカ、フランスと続いている。住みたくない国(地域)は、ソ連、朝鮮半島、アフリカと続き、中国は6～7%と低い割合となっている。住みたい国で日本が多いのは、ある意味では当然である。しかし、半数の生徒が日本をあげているのは、他の資料も考えると、日本の現状に満足していることの反映でもあろう。スイスは中学生に多く、アメリカは多少高校生で割合が高いが、全体として、中・高、男・女、学年の差はみられない。選択の理由は不明であるが、感覚的・感情的・常識的な選択と考えられる。しかも、中学から高校にかけ変化がないのは、世界認識の深まりがないからといえないだろうか。

住みたくない国は、ソ連が圧倒的であるが、中国が少ないことを考えると、社会体制のちがいうより、「アフガン問題」等の影響、また「アフガン」「北方領土」等に関するマスコミの姿勢の反映といえよう。こうした影響は低学年ほど受けているようである。公正な国際感覚、世界観をつくる上で、マスコミの影響力の問題は大きな課題となろう。

〔44〕〔45〕ではマスコミのあり方について聞いている。公正中立に報道していると考えている生徒は1割弱しかなく、5割程度の生徒は、大衆に迎合していると感じている。しかし、具体的に自分達がどの様な影響を受けているか、という点とは、大きなギャップがある。

#### ケ 女性が仕事を持って働くことについて (〔40〕)

〔40〕では、最も身近な女性である母親が働く事について聞いた。

母親は外に働きになどいかず家にいた方が良いと考えている生徒が5～6割強存在し、男女の差もさほどない。外に働きに行く事を肯定的にとらえている生徒は4割強存在し、高校の女生徒の場合は、6割近くへと高くなるが、さほど顕著ではない。またその6割のうち半分の女生徒は、「家庭の事もきちんとやって」という要求を出している。

一方、母親が働く事に賛成で、子どもが家庭における母親の仕事を手助けしたり、また、母親も仕事をもって経済的に自立しているべきだと考えている生徒は男女ともに少ない。女性観の歪みは、母親に対する見方に最も顕著に表われており、それは男女による差はあまりない。

#### コ 企業利益と労働者の権利について (〔49〕)

企業利益を守る為に、労働者にとっての不利益が生じた時に、どの様な態度を取るべきかを聞いた。企業側に積極的支援、及び消極的支援を合わせると、6割存在する。一方労働者の権利を

守る事を第一義的に考えている生徒は2割である。いわゆる『中流意識』、『中産階級指向』の反映であろうか。この設問は協力校の中学生の半数が答えられず、内容がむずかしかった。

#### サ 安保条約と国家主権について (〔50〕)

安保条約のもとで米軍が特別な地位を持っていることにどう考えているかを聞いたものである。6～7割の生徒が「不平等なとりきめを許してはならない」と答えている。しかし、現実に存在しているのであるから、その矛盾を深く掘り下げる姿勢が欲しいところであるが、それは前の設問の答えにも見られた様に、あまり見られない。

本校中1は、9割と非常に高い割合を示しているが、設問の具体例として「米軍は飛行機の墜落で日本人を殺傷しても補償する義務がない」という一文を入れた事が大きく影響しているであろう。この例が無い場合には全体として結果が変わっていたと思われる。

### 4. ま と め

① 前年度の課題の一つであった他校との協同調査を初めて実施した。調査対象校種、調査対象人数、実施学年等で一定の限界はあるが、本校だけで実施している場合と違った角度で検討が出来た。

多くの調査項目において本校と他校で同じ様な傾向が見られ、男女の差も顕著ではなかった。

しかし、一部の項目において、本校生徒の特殊性、生徒の層の違いが社会認識の差となって表われているものがあった。また、本校中学生の傾向と協力校の高校との傾向が似ている個所が見られた。

② 設問の文意を読み取る事が出来ないので、教師が解説しなければならない、設問そのものが難しすぎるという指摘が協力校の中学からあった。また、中学生には、設問数(50項目)も50分の調査時間では多すぎるとの指摘もされた。

前回よりも設問に具体性を持たせ、易しくする試みをしたが十分ではなかった。

③ 設問の具体化は、一定程度『タテマエ』の回答から『ホンネ』の回答へと近づけた。しかし、一方具体化によって、こちらが意図する設問作成が難しくなったことと、具体例の出し方によっては回答が大きく変りうる要素が強くなったのではないか。

④ 前年度も指摘されたが、学年進行による変化があまり見られない。特に物の見方、考え方の面から見た社会認識の深まり、発展は弱い。

それは、社会科教育の果すべき役割の相対的地位の低下を意味するであろう。しかし、この事は単に教師サイドの問題だけでなく、生徒の社会に対する関わり方の変化も大きな要因となっていよう。

⑤ 社会認識の一側面として、知識・理解と共に実践的態度を考えているが、生徒の主体的な生き方の弱さというものは、実践的態度の面で近年、益々弱くなるようである。

⑥ 社会認識が深まり、発展をしないが為に、本来矛盾している事が、矛盾が矛盾として認識されず、意識が分裂されたままの状態が見られる。

⑦ 生徒の社会認識の形成とマスコミなどの情報とは密接に結びついており、低学年ほどその影響をストレートに受けている。情報化社会の中で、その傾向は強まっているようだ。

⑧ しかし、身近な生活に密着した問題においては、健全な感覚を持っている。

また、平和意識についても、マスコミ等の影響を受けつつも、健全と言えよう。

⑨ 前年度からの課題である、「現代社会」、あるいは社会科全体のカリキュラムにこの調査をどう位置づけ、反映させていくかの検討はまだ出来ていない。個々の担当者にまかされているのが現状である。

⑩ 次回には以上の事をふまえつつ、他校との協力関係を強め、総合的検討の上に、実施する必要があるだろう。

(文責 小林 汎)

## 設問と回答の集計結果

(数値はパーセントを示す。合計は必ずしも 100%にならない。★印は参考資料)

〔1〕あなたにとって社会科を学習する最も大きな目的は何ですか。あなたの考えに最も近いものを次の中から一つ選んで下さい。

1. 受験のため。
2. 教養を深めるため。
3. 広い視野にたつて、社会と人間についての理解と認識を深めるため。
4. 理解と認識を深めるだけでなく、より民主的、平和的な社会をつくっていくための考え方や態度を身につけるため。
5. 考えたことがない。
6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑	1 m (117)	4	24	26	20	24	1	1
		2 m (117)	9	17	21	21	26	4	—
	駒	3 m (114)	12	18	29	29	8	2	3
	協力校	全m f (164)	6	12	17	19	37	9	—
高 校	筑	1 m (162)	3	22	30	23	15	4	2
		2 m (146)	23	26	25	11	10	3	2
	駒	★ 3 m (125)	20	38	18	20	2	4	—
	協力校	1 (260)	4	22	22	14	34	4	—
		2 (159)	6	30	26	14	23	1	1

〔2〕いまあなたにとって大切なものは何でしょうか。次の中から一つ選んで下さい。

1. 家族
2. 友人
3. 愛
4. 平等
5. 自由
6. 平和
7. 生活の安定
8. お金
9. 自然
0. なし

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑	1 m (117)	18	19	3	2	13	17	6	11	5	1	1
		2 m (117)	13	13	11	—	22	14	12	3	3	4	—
	駒	3 m (114)	4	13	24	—	13	20	6	13	4	1	2
	協力校	全m f (164)	35	16	16	—	12	11	2	2	5	0	0
		m (63)	35	16	17	—	8	10	3	3	6	2	—
		f (101)	36	16	15	—	14	12	1	1	4	—	1

高 校	筑 駒	1 m (162)	8	11	18	—	31	10	6	3	5	6	2
		2 m (146)	5	12	21	2	23	9	6	9	6	5	2
	協 力 校	1 (260)	16	23	11	1	18	14	5	6	3	2	0
		2 (159)	11	37	17	1	14	10	4	2	4	0	—
		m (193)	10	29	15	1	20	12	5	9	3	2	0
		f (188)	19	29	11	1	14	15	6	2	3	2	—

〔3〕あなたは現在の生活の中で何に情熱を注いでいますか。次の中から一つ選んで下さい。

1. 学校生活
2. 塾・予備校
3. 趣味
4. 娯楽
5. スポーツ
6. 研究活動
7. 友人との交際
8. 信仰・精神修養
9. なし

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	31	1	33	4	21	2	3	—	3	2
		2 m (117)	26	2	36	8	18	2	4	3	9	—
		3 m (114)	13	2	40	7	10	4	7	4	12	—
	協 力 校	全m f (164)	18	—	33	5	15	—	23	1	4	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	20	2	35	6	12	4	6	4	10	1
		2 m (146)	21	9	28	5	8	5	3	8	10	2
	協 力 校	1 (260)	17	0	33	8	13	2	13	4	8	2
		2 (159)	12	1	30	8	19	3	21	1	4	1

〔4〕あなたは現在どのような生き方をしていますか。次の中から一つ選んで下さい。

1. 世間の目を気にせず、自分のやりたいことを楽しむ。
2. 現状に甘んじ、与えられた範囲で、自分の生活を楽しむ。
3. 世の中のことはなりゆきに従って、その日を平穩に過ごす。
4. よりよい社会の実現を目指して、積極的に努力する。
5. いまの社会を大切に、それを守ることに努める。
6. 社会とのかかわりをなるべく避け、ひたすら修業にはげむ。
7. 考えたことがない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	17	29	16	8	7	2	21	1
		2 m (117)	12	44	15	9	1	5	14	1
		3 m (114)	23	35	13	10	2	4	12	1
	協 力 校	全m f (164)	21	18	18	4	7	1	29	5
		m (63)	29	8	16	5	13	2	25	3
		f (101)	16	25	19	3	3	1	31	3

高 校	筑 駒	1 m (162)	16	38	20	9	6	6	5	1
		2 m (146)	17	35	12	12	3	11	10	1
		★3 m (125)	18	34	18	4	2	14	3	7
	協 力 校	1 (260)	22	29	20	4	3	3	18	1
		2 (159)	12	40	31	4	3	3	3	1
		m (193)	22	32	19	5	3	4	15	2
		f (188)	17	33	27	2	4	2	16	0

〔5〕 それでは、あなたは将来どのような生き方をしようと思いますか。前問の1から7までの中から一つ選んで下さい。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	14	9	9	44	12	—	11	1
		2 m (117)	12	10	9	35	14	2	19	—
		3 m (114)	18	8	9	42	10	3	8	3
	協 力 校	全m f (164)	19	15	9	28	7	2	16	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	22	2	6	48	6	6	9	2
		2 m (146)	17	12	8	42	4	5	10	1
		★3 m (125)	15	7	10	45	5	5	5	7
	協 力 校	1 (260)	23	12	10	27	12	1	11	1
		2 (159)	25	18	11	27	11	0	5	3

〔6～7〕 今日の日本が解決を迫られている重要な課題は何でしょうか。次の6群から一つ、7群から一つ選んで下さい。

- 6群 1. 貧富の差 2. 医療問題 3. 巨大企業 4. 受験戦争 5. 人口問題  
6. エネルギー・資源問題 7. 安保・軍備・防衛問題 8. 人権侵害  
9. 汚職・政治腐敗 0. わからない

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	—	—	—	6	8	44	26	1	12	2	2
		2 m (112)	2	3	—	12	4	32	25	2	15	5	—
		3 m (114)	—	—	2	6	7	28	35	3	18	2	—
	協 力 校	全m f (166)	5	3	1	19	1	32	18	—	15	10	12
高 校	筑 駒	1 m (162)	1	2	1	6	4	30	33	4	17	1	2
		2 m (146)	2	3	0	5	7	36	28	3	9	5	2
		1 (260)	2	3	2	12	2	36	22	1	17	3	1
	協 力 校	2 (159)	4	1	1	13	4	43	14	—	20	1	—

- 〔6～7〕 7群 1. 労資の対立 2. 社会福祉問題 3. 経済不況 4. 青少年の非行  
 5. 土地・住宅問題 6. 公害・環境破壊 7. 他国との協調 8. 物価の上昇  
 9. 選挙制度 0. わからない

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	1	9	3	9	10	38	13	13	1	2	1
		2 m (117)	2	9	3	9	15	30	13	11	3	7	—
		3 m (114)	—	6	6	10	7	32	20	12	3	3	2
	協力校	全m f (164)	2	6	5	21	4	23	5	27	1	6	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	1	6	2	10	20	28	20	9	2	—	1
		2 m (164)	1	3	5	10	19	25	26	2	2	5	1
	協力校	1 (260)	1	11	5	18	5	25	11	19	2	2	1
		2 (159)	1	10	9	14	4	23	13	20	2	2	1

〔8～9〕 今日の世界が解決を迫られている重要な課題は何でしょうか。次の8群から一つ9群から一つ選んで下さい。

- 8群 1. 人種差別 2. 食料問題 3. 南北問題 4. 多国籍企業 5. エネルギー・資源問題 6. 核・軍縮問題 7. 民族の対立 8. 経済的格差 9. わからない

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	5	4	2	—	39	43	3	3	1	1
		2 m (117)	4	4	9	1	32	34	5	5	4	1
		3 m (114)	4	9	3	—	26	45	4	6	3	2
	協力校	全m f (164)	26	4	—	2	27	23	2	7	5	3
高 校	筑 駒	1 m (162)	1	14	1	1	25	45	6	5	1	1
		2 m (146)	1	12	9	1	33	31	8	3	2	2
	協力校	1 (260)	9	5	0	1	33	37	4	7	2	1
		2 (159)	5	8	2	1	36	32	2	9	4	—

〔8～9〕 9群

1. 自由の抑圧 2. 人口問題 3. 米ソ対立 4. 貿易問題 5. 公害・環境破壊問題  
 6. 大国の小国支配 7. 宗教の対立 8. 新植民地主義 9. わからない

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	14	13	32	2	23	6	1	3	6	2
		2 m (117)	9	9	33	13	20	4	1	2	7	2
		3 m (114)	10	24	31	5	17	4	1	4	5	1
	協力校	全m f (164)	5	4	22	9	26	8	2	6	15	3

高 校	筑 駒	1 m (162)	15	25	24	5	15	9	2	3	1	1
		2 m (146)	10	24	20	11	14	10	2	5	3	2
	協 力 校	1 (210)	9	11	28	5	23	12	16	3	8	2
		2 (159)	9	11	32	6	23	7	1	3	7	—

〔10〕北方領土のソ連の基地が強化されたといわれていますが、それに関連して日本はどうすればよいか、あなたの考えに近いものを一つ選んで下さい。

1. 北海道の自衛隊を増強する。
2. 北海道に米軍の大きな基地をもうける。
3. 国連に訴えて、真相を調べる。
4. 直接攻めてくるとは思えないので、心配しない。
5. ソ連と話し合っ争いをおこさないようにする。
6. 北方領土の返還要求をやめて、平和条約を結ぶ。
7. どの国との軍事条約もとりやめ、平和条約を結んで、領土の返還を求める。
8. なし 9. 分らない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	3	15	2	38	5	26	—	1	1
		2 m (117)	9	3	23	3	19	3	19	7	13	—
		3 m (114)	12	5	25	9	17	5	20	1	6	—
	協 力 校	全m f (164)	7	2	7	1	37	7	29	1	7	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	5	4	17	9	18	4	31	6	4	1
		2 m (146)	7	8	17	11	27	3	18	5	4	1
	協 力 校	1 (260)	7	6	18	5	34	4	18	1	5	1
		2 (159)	4	3	26	8	24	7	9	2	6	1

〔11-21〕

「まったく賛成」の人は1 「どちらかといえば賛成」の人は2 「どちらともいえない」人は3 「どちらかといえば反対」の人は4 「まったく反対」の人は5 「わからない」の人は6と回答して下さい。

〔11〕現在の日本は平和である。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	13	50	22	8	6	—	1
		2 m (117)	12	49	21	9	7	2	1
		3 m (114)	21	50	11	8	9	1	—
	協 力 校	全m f (164)	7	32	32	19	5	2	2

高	筑 駒	1 m (162)	23	51	12	6	6	1	1
		2 m (146)	40	41	5	6	3	2	1
		★ 3 m (125)	35	44	10	6	3	2	—
校	協力校	1 (260)	15	48	23	8	2	2	2
		2 (159)	11	54	23	8	2	1	1

〔12〕 現在の世界は平和である。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	—	7	25	39	28	1	—
		2 m (117)	3	14	25	29	27	3	—
		3 m (114)	2	16	31	19	29	3	1
	協力校	全m f (164)	2	4	27	39	22	4	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	2	11	26	34	26	1	1
		2 m (146)	6	18	18	29	27	1	1
		★ 3 m (125)	2	13	26	32	26	2	—
	協力校	1 (260)	1	7	34	35	20	2	1
		2 (159)	1	9	38	37	12	4	—

〔13〕 戦争が行なわれていなくても、社会にさまざまな不平等や不正が存在する限り、真の平和とはいえない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	67	22	5	1	2	2	2
		2 m (117)	52	21	11	7	3	5	—
		3 m (114)	52	24	10	6	5	4	—
	協力校	全m f (164)	54	24	6	1	4	9	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	52	25	10	6	4	—	2
		2 m (146)	41	29	12	5	8	3	2
		★ 3 m (125)	39	27	14	12	4	2	2
	協力校	1 (260)	64	24	6	1	2	2	2
		2 (159)	58	30	5	3	2	1	1

〔14〕正義と平和を守るためには、戦争もやむをえない時がある。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	8	10	12	7	61	3	—
		2 m (117)	6	14	15	26	33	5	—
		3 m (114)	11	20	12	18	32	7	—
	協力校	全m f (164)	9	9	19	15	44	2	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	7	15	16	17	41	3	1
		2 m (146)	14	13	20	12	36	4	1
		★3 m (125)	12	13	12	16	44	2	2
	協力校	1 (260)	7	8	15	17	49	3	2
2 (159)		7	8	17	17	48	3	—	

〔15〕私たちの国を守るためには軍事力が必要である。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	11	15	17	43	3	3
		2 m (117)	10	16	16	26	26	4	—
		3 m (114)	18	18	22	16	20	6	—
	協力校	全m f (164)	9	11	34	15	23	5	5
		m (63)	13	10	35	14	24	2	3
		f (101)	6	12	34	16	23	7	3
高 校	筑 駒	1 m (162)	9	14	17	22	33	5	1
		2 m (146)	16	18	14	18	28	4	2
	協力校	1 (260)	15	14	24	17	22	7	2
		2 (159)	9	14	21	26	21	8	—
		m (193)	20	17	22	13	24	5	1
		f (188)	6	11	23	27	20	11	1

〔16〕国のためなら徴兵制ちようへいせいも必要である。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	3	3	4	6	82	3	—
		2 m (114)	2	2	3	9	85	1	—
		3 m (110)	7	3	11	17	57	5	—
	協力校	全m f (164)	2	2	13	12	60	9	2

校 高	筑 駒	1 m (162)	2	3	4	11	77	1	1
		2 m (146)	5	5	9	12	65	2	1
	協力 校	1 (260)	4	3	10	13	65	4	1
		2 (159)	4	1	5	25	59	4	1

〔17〕 防衛のために税金の負担が大きくなるとか、福祉関係の予算がへるのは止むを得ない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	3	7	5	18	65	2	—
		2 m (117)	4	3	8	21	62	3	—
		3 m (114)	12	8	16	25	35	4	—
	協力 校	全m f (63)	8	5	14	19	45	6	3
高 校	筑 駒	1 m (162)	6	6	6	31	49	1	2
		2 m (146)	9	10	9	22	46	3	1
	協力 校	1 (260)	4	3	13	20	57	2	2
		2 (159)	3	4	8	23	55	6	1

〔18〕 場合によっては、核兵器（原水爆など）を使わなければ、戦争することもやむを得ない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	2	5	5	4	80	3	1
		2 m (117)	3	2	12	14	68	2	—
		3 m (114)	9	10	12	16	51	3	—
	協力 校	全m f (164)	3	5	14	15	58	4	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	5	5	7	19	62	2	1
		2 m (146)	7	9	10	14	56	3	1
		★3 m (125)	6	5	8	14	64	2	—
	協力 校	1 (260)	6	6	15	22	67	2	1
2 (159)		3	4	8	23	60	1	2	

〔19〕 原水爆禁止のための運動は大いに効果をあげてきた。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	19	29	27	10	5	—
		2 m (117)	5	9	29	32	18	7	—
		3 m (114)	4	14	23	26	23	11	—
	協力 校	全m f (164)	15	15	26	7	9	25	3

高 校	筑 駒	1 m (162)	2	15	30	30	18	4	1
		2 m (146)	3	7	27	32	21	9	1
		★ 3 m (125)	3	10	34	32	18	2	—
	協力校	1 (260)	10	19	24	13	8	25	1
		2 (159)	8	19	35	9	8	20	1

〔20〕核実験は、核の平和利用のためならば、認められるべきである。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	15	20	18	9	36	2	1
		2 m (117)	17	25	18	14	23	3	—
		3 m (114)	24	23	22	11	19	2	—
	協力校	全m f (164)	7	16	20	17	27	8	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	13	23	23	16	20	2	2
		2 m (146)	27	21	14	14	19	3	2
		★ 3 m (125)	20	24	22	14	18	2	—
	協力校	1 (260)	7	16	20	13	35	2	0
		2 (159)	7	20	21	17	26	8	1

〔21〕日本国憲法の平和的条項（前文・第9条）では戦争をしないこと、そのために戦力をもたないことを規定しているが、これは日本の誇りである。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	50	22	15	3	4	4	1
		2 m (117)	39	22	20	6	6	7	—
		3 m (114)	28	25	17	14	11	4	—
	協力校	全m f (164)	22	18	30	5	6	15	3
高 校	筑 駒	1 m (162)	44	22	19	7	5	2	1
		2 m (146)	35	24	19	6	12	3	1
		★ 3 m (125)	36	19	24	7	11	2	—
	協力校	1 (260)	24	17	30	7	9	12	2
		2 (159)	25	26	25	8	8	7	1

〔22〕〔6～7〕及び〔8～9〕で考えた日本及び世界の課題の解決に、現在のあなたはどのようにかかわったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを、次の中から一つ選んで下さい。

1. 大人の問題だから大人にまかせておけばよい。

2. 問題のありかをできるだけ正確に認識し、大人になってから積極的に問題解決ができるような能力と態度を養っておく。
3. 大人だけにまかせず、現在の自分でもできるだけのことを努力する。
4. あまり関心がない。    5. なし    6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	4	56	25	9	2	4	—
		2 m (117)	10	55	12	10	4	8	1
		3 m (114)	4	62	12	11	4	7	—
	協力校	全 m f (164)	4	23	35	14	1	20	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	4	75	5	10	2	2	1
		2 m (146)	4	63	11	11	3	6	2
		★ 3 m (125)	1	67	13	16	3	—	—
	協力校	1 (260)	3	40	21	18	3	13	2
2 (159)		7	41	20	16	2	12	2	

〔23〕 歴史を研究して昔の世の中の移り変わりや事件を知ると、現在の世の中の諸問題を考えたり、将来の見通しを立てるうえに役立つ。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	45	31	14	9	1
		2 m (117)	50	29	11	9	—
		3 m (114)	50	29	16	5	—
	協力校	全 m f (164)	20	35	18	26	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	52	31	11	5	1
		2 m (146)	61	22	14	3	1
	協力校	1 (260)	26	35	25	13	1
		2 (159)	25	45	17	9	4

〔24〕 歴史上の古いことからは、すべてわれわれの貴重な文化的財産だから、みんながよく学び後世に伝えなければならない。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	38	37	14	9	2
		2 m (117)	26	48	16	9	1
		3 m (114)	30	34	25	10	1
	協力校	全 m f (164)	52	27	10	7	3

高 校	筑 駒	1 m (162)	22	45	25	7	1
		2 m (146)	20	40	26	12	2
	協 力 校	1 (260)	41	38	14	6	2
		2 (159)	33	43	16	5	3

〔25〕現在の新聞・ラジオ・テレビや書物に、歴史上のことが出てくるので、歴史の知識がないと話題もすくなくなり、生活が豊かにならない。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	21	52	18	—
		2 m (117)	10	18	56	16	—
		3 m (114)	8	20	54	11	1
	協 力 校	全m f (164)	10	27	46	15	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	7	26	53	12	2
		2 m (146)	10	25	51	13	2
	協 力 校	1 (260)	10	24	51	14	1
		2 (159)	8	31	47	11	3

〔26〕歴史に出てくる英雄や偉大な人物の、考えや行いを学ぶことによって、現在の自分がはげまされる。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	22	42	21	15	1
		2 m (117)	17	27	41	14	1
		3 m (114)	18	33	33	14	1
	協 力 校	全m f (164)	21	34	31	13	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	12	29	46	11	2
		2 m (146)	14	25	45	13	3
	協 力 校	1 (260)	15	34	38	13	1
		2 (159)	18	31	40	9	3

〔27〕人間の文化や生活は、すべて時代が古いほど未開で、時代が降るに従って発展している。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	28	34	32	4	1
		2 m (117)	15	37	39	9	—
		3 m (114)	18	37	40	4	1
	協 力 校	全m f (164)	39	29	15	15	2

高 校	筑 駒	1 m (162)	16	35	45	3	1
		2 m (146)	13	28	53	5	2
	協 力 校	1 (260)	27	37	30	5	2
		2 (159)	30	35	29	4	3

〔28〕自然科学は発展してきているとしても、宗教・美術などでは昔のほうがすぐれていたものもある。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	50	36	9	5	—
		2 m (117)	36	37	14	12	2
		3 m (114)	38	38	13	11	—
	協 力 校	全m f (164)	49	32	9	9	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	44	41	6	8	2
		2 m (146)	37	37	15	10	1
	協 力 校	1 (260)	49	37	7	5	1
		2 (159)	39	44	9	6	2

〔29〕世の中の事件は、その時の偶然的なものによって左右されているから、前もって知ることなどは全然できない。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	20	24	40	15	1
		2 m (117)	8	33	44	15	—
		3 m (114)	13	34	44	9	—
	協 力 校	全m f (164)	20	30	26	22	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	6	23	64	5	1
		2 m (146)	8	29	54	8	1
	協 力 校	1 (260)	22	32	34	10	2
		2 (159)	21	25	39	12	3

〔30〕歴史を動かしてきたのは、民衆の力による経済や文化の発展である。

		学年生	1	2	3	4	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	30	36	24	9	2
		2 m (117)	25	38	21	17	—
		3 m (114)	25	43	23	10	—
	協 力 校	全m f (164)	32	34	13	20	2

高 校	筑 駒	1 m (162)	15	44	27	12	1
		2 m (146)	13	45	25	14	2
	協 力 校	1 (260)	30	45	14	10	1
		2 (159)	28	43	14	11	4

〔31～32〕日本には、震災や風水害などの災害が多い。その理由として重要と思われるものを、次の31群から一つ、32群から一つ選んで下さい。

- 31群 1. 日本列島の地盤は、不安定である。 2. 国土がせまい。  
3. 文明が発達しすぎた。 4. 防災技術の開発が遅れている。  
5. 国民は災害になれ、あきらめている。 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	44	6	3	33	4	9	—
		2 m (117)	60	9	5	14	4	8	1
		3 m (114)	53	10	5	19	4	8	1
	協 力 校	全m f (164)	35	21	10	12	4	17	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	44	7	7	31	4	6	2
		2 m (146)	49	10	5	23	3	7	2
	協 力 校	1 (260)	50	9	8	16	5	9	2
		2 (159)	53	13	8	16	3	6	2

- 32群 1. 気象の変化がはげしい。 2. 人口が多すぎる。  
3. 経済活動がさかんになりすぎた。 4. 国・自治体が防災を軽視してきた。  
5. 大都市が多くなった。 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	28	12	2	31	15	11	1
		2 m (117)	29	14	4	31	14	8	1
		2 m (114)	32	18	6	24	11	9	—
	協 力 校	全m f (164)	21	12	2	15	28	21	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	19	18	2	42	9	9	1
		2 m (146)	24	16	5	28	16	10	1
	協 力 校	1 (260)	24	16	3	22	23	11	1
		2 (159)	29	19	3	18	21	8	1

〔33〕都市の出すゴミの量は大変多く、どう処理するか大きな問題となっています。東京都では区ごとにできるだけ処理する方針に従って、杉並区の高井戸に清掃工場（ゴミを焼きやすくする）をつくらうとしたところ、地域の住民から反対運動が長年にわたってありました。もし、かりにあなたの住まいの近くに清掃工場ができるとしたらどうしますか。あなたの考えに近いものを一つ選んで下さい。

1. 自分たちの生活環境がみだれるので、あまり住宅に影響のでない、過疎地域の山村などにつくるよう働きかける。
2. 清掃工場などつくらず、東京湾にもっと大きな夢の島（埋立地）のようなものをつくるように働きかける。
3. 自分たちのまわりにつくられるのは反対だが、他に適当な場所がなければしかたがない。
4. 自分の区のゴミを自分の区で処理するのは賛成だが、公害などが起らないよう働きかけ生活環境を守るようにする。
5. どこか環境のよい場所があったらそちらに引っ越したい。
6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	13	9	16	59	2	2	—
		2 m (117)	15	13	20	42	3	6	2
		3 m (114)	6	17	20	49	4	4	—
	協力校	全m f (164)	13	11	13	49	5	7	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	13	10	12	55	3	6	1
		2 m (146)	6	14	11	55	5	7	1
	協力校	1 (260)	17	10	10	49	4	5	1
		2 (159)	19	9	11	54	2	3	3

〔34〕新幹線は東京—博多間 1.177 Kmを約7時間で結び、大量輸送機関として世界各国の注目を集めています。上越・東北の新幹線の完成も間近になりましたが、東京周辺では住民の協力が得られず、当分大宮始発ということです。それというのも、東京—博多の新幹線で、沿線住民は、騒音、振動、TVの受像障害などの被害をうけているという事実があるからです。

沿線住民の新幹線への対応のしかたとして、あなたが正しいと考えるものを次の1～6の中から一つ選んで下さい。

1. 公共の利益だから、多少の騒音等はがまんすべきだと思う。
2. 騒音防止など今の技術で可能な限りの努力をしているのだから多少の騒音はがまんすべきだと思う。

3. 迷惑を受けているのだから、十分に補償金をとって、他の土地へ移ればよいと思う。
4. 迷惑を受けているのだから、設備の改善か、列車のスピードを落して迷惑のかからないように要求すべきだと思う。
5. なし 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	5	18	15	53	1	8	—
		2 m (117)	6	26	22	34	6	6	—
		3 m (114)	10	19	23	32	6	10	—
	協力校	全m f (164)	4	26	16	37	2	16	—
高 校	筑 駒	1 m (162)	7	15	26	41	6	6	1
		2 m (146)	10	15	21	41	4	2	1
	協力校	1 (260)	5	17	21	48	1	8	—
		2 (159)	3	16	21	44	3	8	6

〔35〕 1970年代に入って、石油価格が急上昇し、石油をエネルギーの中心にすえて発展してきた先進国の経済は大きな打撃を受けました。石油を産出しない発展途上国は、外貨不足に悩まれました。1970年代の石油価格の上昇の理由として、もっとも正しいと思うものを、次の1～7の中から一つ選んで下さい。

1. 石油の埋蔵量が減ってきたので、価格が上昇した。
2. 石油の需要量が供給量を上回るようになったから価格が上昇した。
3. 海底油田の開発など、石油の採掘にお金がかかるようになったため、価格が上昇した。
4. 石油輸出国が団結して、石油からより大きな利益をひきだすために価格をあげた。
5. 大きな石油会社が安い石油を高く売っていたので、産油国が団結して分け前を大きくするために原油を値上げしたのだが、石油会社は、それを価格に加えたので、価格が上昇した。 6. なし 7. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	16	17	2	50	8	1	6	—
		2 m (117)	3	8	1	54	22	1	1	—
		3 m (114)	4	9	2	51	24	3	9	—
	協力校	全m f (164)	23	7	5	18	18	1	26	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	6	3	—	48	38	1	4	1
		2 m (146)	3	2	2	49	36	3	4	1
	協力校	1 (260)	21	17	21	33	17	1	8	1
		2 (159)	15	20	2	35	16	1	8	4

〔36〕国連の推計では、2000年の地球人口は増加を低く見積って60億、高く見積れば、71億に達するとしています。この人口増加に関連した次の1～6の文のうち、もっとも賛成できるものを一つ選んで下さい。

1. このように人口が増加すると食料やエネルギー資源の不足が心配されるので、人口増加の大きい発展途上国は、人口増加を抑える政策をとらなければならない。
2. このように人口が増加すると、食料やエネルギー資源の不足が心配されるので、すべての国々で人口増加を抑える政策をとる必要がある。
3. 発展途上国の生産力を高め、人々の暮らしを豊かにすることで人口と食料・エネルギー資源の間の不均衡は解消される。
4. 現在のように先進国を中心に、効率的な食料・エネルギーの生産をはかり、発展途上国へは、生産物を販売し、資源を購入する経済協力が必要である。
5. 先進国ではエネルギーや食料の一人当りの消費量が大きいので、これを節約すれば人口増に対応できる。
6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	14	26	26	18	11	10	2
		2 m (117)	19	33	18	12	9	9	—
		3 m (114)	23	39	10	15	7	7	—
	協力校	全m f (164)	6	19	12	15	16	29	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	23	35	18	11	4	8	1
		2 m (146)	24	32	18	12	7	5	5
	協力校	1 (260)	15	29	15	17	11	11	2
		2 (159)	11	34	13	18	11	9	4

〔37〕将来、あなたが住みたい国または地域を一つ選びなさい。

1. 日本
2. 朝鮮半島
3. 中国
4. アメリカ
5. ブラジル
6. タイ
7. スイス
8. フランス
9. ソ連
0. アフリカ

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	38	1	4	12	1	1	28	9	2	3	2
		2 m (117)	53	—	1	10	3	—	23	6	1	2	1
		3 m (114)	54	1	1	15	4	—	19	3	2	3	—
	協力校	全m f (164)	50	2	2	10	0	0	20	11	1	2	3
高 校	筑 駒	1 m (162)	54	—	2	11	1	—	13	12	2	2	2
		2 m (146)	58	1	7	9	2	1	11	3	1	5	1
	協力校	1 (260)	48	0	3	18	0	0	18	7	2	2	2
		2 (159)	43	1	1	19	4	1	21	7	0	1	3

〔38〕 将来、あなたが住んでみたくない国、または地域を、前問の1から0までの中から一つ選んで下さい。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	4	21	3	6	1	5	—	1	44	14	2
		2 m (117)	4	17	3	7	3	15	1	3	28	15	4
	協 力 校	3 m (114)	3	25	7	5	3	11	—	2	27	17	1
		全m f (164)	4	18	7	6	6	7	—	—	30	17	5
高 校	筑 駒	1 m (162)	5	27	6	8	1	8	1	1	29	13	2
		2 m (146)	3	27	7	6	1	11	1	3	30	10	1
	協 力 校	1 (260)	2	22	6	3	3	9	1	1	33	18	2
		2 (159)	4	21	9	3	2	11	1	1	35	12	2

〔39〕 身体障害者の人たちが働きたいという希望を持ってもなかなか働き口がないのが実状ですが、こういった現状に対してあなたはどのように思いますか。

次の1から7までの中からあなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 身障者の人では仕事の能率がさがるので民間会社などがやといたがらないのは止むを得ない。
2. 身障者の人たちも人間なのだから多少会社はもうからなくてもやとってあげるべきである。
3. 国や地方自治体が会社などに補助金を出して、身障者がやとってもらえるようにする。
4. 国や地方自治体は補助金だけでなく、身障者の働ける作業所をひろげるなどの努力をすべきである。
5. 身障者の人が働くといっても大変なので、これらの人が働かなくても生活できるように国や地方自治体が社会保障を充実させる。
6. なし
7. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	3	10	9	63	12	1	—	2
		2 m (117)	9	4	12	58	14	2	2	—
	協 力 校	3 m (114)	14	3	10	66	5	—	2	1
		全m f (164)	3	15	7	56	10	1	4	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	10	3	8	67	5	2	1	3
		2 m (146)	14	1	15	58	4	3	2	2
	協 力 校	1 (260)	7	6	5	70	6	1	2	2
		2 (159)	1	6	6	72	6	1	2	3

〔40〕 母親が外に職を持ち働きに行くことについて、あなたはどのように思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 家庭で子どもを育てたり、家事をすることが、母親の仕事なので、外に出て働くべきではない。
2. 家庭は家族にとって大切な生活の場なので、家庭を守るために家にいた方がよい。
3. 経済的に必要ならばやむをえないが、できれば家にいた方がよい。
4. 経済的に必要ならば、家庭の仕事は子どもたちで手助するので、働きにいった方がよい。
5. 母親が希望するなら反対はしないが、家庭の事もきちんとやってほしい。
6. 母親が希望するなら反対しない。家庭の事は子どもが手助けする。
7. 母親も仕事をもって経済的に自立すべきである。
7. なし。 8. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	6	50	5	15	11	3	—	1	1
		2 m (117)	11	3	44	3	28	3	1	3	4	—
		3 m (114)	7	5	39	4	24	11	6	3	1	—
	協 力 校	全 m f (164)	9	10	36	4	12	18	6	—	2	2
		m (63)	10	14	30	3	16	21	6	—	—	—
		f (101)	9	8	39	5	10	17	5	—	4	3
高 学 校	筑 駒	1 m (162)	6	7	42	1	23	11	7	1	1	1
		2 m (146)	16	9	26	3	25	10	6	2	1	2
	協 力 校	1 (260)	7	5	41	4	22	12	5	1	2	2
		2 (159)	6	8	40	4	24	10	6	0	0	2
		m (143)	10	6	46	4	19	3	3	1	3	2
		f (188)	2	4	35	2	29	18	9	0	0	1

〔41〕 独占価格についてあなたが感じていることにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 独占禁止法で値だんのつり上げを取り締まってほしい。
2. 大企業のもうけを制限してしまって、日本の国際競争力を低下させるのはまずい。
3. 独占価格を厳しく取り締ると、大企業の経営が不安定になって、景気を悪化させるのではないか。
4. 企業の秘密を制限し、少なくとも原価を公開させるところまでいかないと、問題が解決しない。
5. なし。 7. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	28	8	9	26	2	26	2
		2 m (117)	26	3	17	20	6	28	—
		3 m (114)	18	11	17	37	7	10	—
	協力校	全m f (164)	16	4	5	12	1	58	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	21	10	9	43	4	10	1
		2 m (146)	27	10	12	32	5	12	2
		★3 m (125)	32	4	5	49	2	7	—
	協力校	1 (260)	24	3	9	24	2	36	2
		2 (159)	29	5	11	19	1	31	4

〔42〕 若者は年配者よりも政治にたいする不信感が強いといわれます。あなたの気持に近いものを一つ選んで下さい。

1. 不信感をもっている人もいるようだが、自分としては感じない。
2. いまの政治は大企業優先で、国民を犠牲にしている。
3. ロッキード事件やダグラス・グラマン事件のように、政治が私腹をこやすために行われている。
4. 国民の側をむいているのかどうかわからないようないまの政治なのに、自分たちの行動では変えられそうもない。
5. 革新的な野党が無力なので、変革の展望がもてない。
6. 汚職をやったような議員を、地元の利益を優先させて、また当選させるような人たちにあいそがつきる。国民の大多数は民主主義をになうにふさわしい能力を身につけていない。
7. 多くの国民が、どうせ変りっこないと、政治にあきらめを感じている。
8. 民主主義という政治のしかたでは、国民の大部分が満足するような政治は期待できない。
9. なし。 0. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	5	31	7	5	28	5	3	2	4	—
		2 m (117)	7	3	32	12	7	17	13	2	2	6	—
		3 m (114)	6	6	18	18	13	26	7	1	1	2	1
	協力校	全m f (164)	9	4	9	5	1	17	4	10	3	34	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	6	4	8	16	9	38	10	2	4	2	1
		2 m (146)	8	7	18	9	5	33	5	4	5	4	1
	協力校	1 (260)	7	7	21	20	3	21	11	1	1	8	1
		2 (159)	8	6	20	18	5	18	14	3	2	4	3

〔43〕いまの日本を実際に動かしている力は何だと思いますか。一番大きな力だと思うもの一つだけ選んで下さい。

1. 選挙
2. 政党
3. 大衆運動
4. 国民の世論
5. 官僚
6. 財界
7. 圧力団体
8. 外国の圧力
9. なし
0. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	1	25	3	11	18	21	2	14	3	4	—
		2 m (117)	3	28	2	3	20	21	—	11	2	10	—
		3 m (114)	4	14	2	4	12	37	7	15	—	5	1
	協力校	全m f (146)	4	18	5	7	1	6	2	26	1	27	2
高 校	筑 駒	1 m (162)	—	13	—	2	17	52	4	4	2	5	1
		2 m (146)	2	14	1	2	17	43	8	4	3	4	1
		★3 m (125)	1	17	—	2	24	43	6	3	2	2	—
	協力校	1 (260)	0	23	2	7	3	32	5	15	1	10	2
		2 (159)	1	23	3	6	4	40	6	3	—	5	1

〔44～45〕マスコミは一方的な情報の伝達をするといわれることがあります。日本のマスコミについてあなたが感じていることを44群と45群の中からそれぞれ一つずつ選んで下さい。

- 44群
1. 大衆の中にある低俗な気持を利用する傾向がある。
  2. 資本主義の現状を維持しようとする傾向をもつ。
  3. ときの政府に好意的な傾向がある。
  4. 反政府的な傾向が強い。
  5. 公正中立に報道している。
  6. なし。
  7. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	45	7	3	10	9	3	21	1
		2 m (117)	56	4	3	11	5	5	15	—
		3 m (114)	45	9	11	10	4	9	11	2
	協力校	全m f (164)	4	4	6	8	5	2	52	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	52	8	10	9	4	8	7	1
		2 m (146)	56	9	10	5	7	4	8	2
	協力校	1 (260)	53	6	6	8	6	3	17	3
		2 (159)	57	6	9	6	4	3	14	3

- 45群
- 危険性を感じるが、改善させることはできそうもない。
  - 危険性を感じるので、市民的な抵抗の運動が必要だと思う。
  - 多くの人はおしながされてしまうと思うが、自分には自覚がある。
  - かたよりがあっても、国民の大部分は健全な判断力をもっているから、それほど心配する必要はない。
  - いまの状態を変える必要はない。
  - なし。
  - わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	9	21	13	26	7	8	18	—
		2 m (117)	23	19	12	15	12	5	15	—
		3 m (114)	25	20	15	8	15	4	11	—
	協力校	全m f (164)	12	9	5	10	7	4	50	4
高 校	筑 駒	1 m (162)	15	20	24	12	17	6	4	1
		2 m (146)	14	25	21	8	15	5	10	2
	協力校	1 (260)	15	12	14	22	8	6	20	2
		2 (159)	18	16	13	24	6	4	18	1

[46] 戦前のドイツや日本でみられたように、ファッション的な政治は民主主義守ろうとする人たちの人権を奪い、民主主義とまっこうから対立しました。もし、そのような時代がやってきたらあなたはどうしますか。あなたの気持ちに近いものを一つだけ選んで下さい。

- いまのような民主主義の世の中では、再来は考えられない。
- そのような時代がやってきたとしても、庶民の大部分にとって大した意味はもたないと思う。
- そのようなことが身近かで起れば、抵抗する人たちになんらかの協力をしたい。
- 抵抗することは勇敢だとは思いますが、自分を犠牲にするような危険な行動はとれない。
- 民主主義の伝統の弱い日本では、どんな抵抗も結局おしつぶされてしまうと思う。
- いまの時代に必要なのは衆愚政治ではなく、優れた者による指導だと思う。
- 社会主義になるより、そういう時代のほうがまだましだと思う。
- なし。
- わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	12	3	51	9	6	5	4	3	7	—
		2 m (117)	20	4	39	12	6	5	—	4	9	—
		3 m (114)	15	2	40	14	14	4	5	3	1	—
	協力校	全m f (164)	10	5	27	5	11	8	4	—	27	2

高 校	筑 駒	1 m (162)	7	2	47	22	6	6	3	3	2	1
		2 m (146)	7	5	43	14	6	9	4	4	5	2
		★3 m (125)	11	3	46	19	10	2	3	2	2	—
	協 力 校	1 (260)	11	6	34	8	9	5	2	—	23	3
		2 (159)	14	5	35	9	9	6	2	1	17	1

〔47〕民法には、親子は「互に扶養をする義務がある」と規定されています。あなたは、年若い自分の親の考後の生活保障をどのようにしたらよいと考えますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 親と同居して、どんなことをしてでも養う。
2. 自分の生活力に応じて親を養う。
3. 仕事についたり、貯蓄をしておくなど、親自身が努力してほしい。
4. 親は保険料を徴集されているし、老齢年金などの社会保障で生活ができるようになってもらう権利がある。
5. なし。 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	32	47	3	9	3	5	1
		2 m (117)	20	56	3	9	2	10	—
		3 m (114)	17	53	8	12	3	5	—
	協 力 校	全m f (164)	39	44	1	4	1	7	3
		m (63)	41	46	2	5	2	5	—
		f (101)	38	43	1	4	1	9	5
高 校	筑 駒	1 m (162)	15	57	7	10	5	4	1
		2 m (146)	18	43	12	15	5	5	2
	協 力 校	1 (260)	20	56	6	9	2	5	3
		2 (159)	16	64	8	8	2	1	3
		m (193)	20	55	5	11	2	4	3
		f (188)	18	62	6	6	2	4	3

〔48〕あなたが将来、年をとったとき、考後の生活保障はどのようであればよいと考えますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. こどもたちに養ってもらおう。
2. こどもたちの生活力に応じて養ってもらおう。
3. 仕事についたり、貯蓄をしておくなど、自分自身の努力で生きていく。
4. 老齢年金などの社会保障で生活できるような世の中であってほしい。

5. なし。 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	8	19	38	25	3	7	1
		2 m (117)	9	17	34	25	3	12	—
		3 m (114)	8	8	51	23	3	6	2
	協力校	全 m f (164)	10	21	39	11	—	18	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	4	12	51	20	2	9	1
		2 m (146)	7	8	53	23	2	5	2
	協力校	1 (260)	3	17	43	28	3	5	2
		2 (159)	3	14	52	25	4	1	1

〔49〕 かりに、あなたのお父さんが勤めている会社で、「国際競争に打ち勝つため」と言って、労働時間の延長や賃上げストップなどを言い渡されたら、あなたは、お父さんがつぎのどのような態度をとることに賛成しますか。

1. 能力を発揮する場を確保したり、発展の可能性をきりひらいたりできそうなので、会社のやりかたを支持する。
2. 生活の安定を失うわけにはいかないので、プラス面、マイナス面の評価はできるだけ避けて、黙って働き続ける。
3. 一時的な不利益は耐えなければならないこともあるが、批判の気持だけは失いたくない。
4. 働く者を犠牲にするのは、もうけのために、企業がよくやる手段なので、昇給・昇格のためはマイナスでも、改善のための行動にでる。
5. なし。 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	10	8	42	20	4	16	—
		2 m (117)	9	4	43	16	7	21	—
		3 m (114)	11	10	38	20	8	11	—
	協力校	全 m f (164)	7	8	17	18	2	46	1
高 校	筑 駒	1 m (162)	7	7	45	15	13	11	2
		2 m (146)	8	9	44	21	9	7	3
	協力校	1 (260)	4	8	36	19	5	24	4
		2 (159)	11	8	32	21	4	21	3

〔50〕アメリカと日本との間で結ばれた安保条約をもとにして、米軍は自衛隊を指揮下におくことになっており、また、米軍は飛行機の墜落で日本人を殺傷しても、補償する義務がないことになっています。

このことについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んで下さい。

1. 独立国は他の国に支配されないという原則にてらして、そのような不平等なとりきめを許してはならない。
2. 独立した国どうしのとりきめなのだから、不平等な点があっても、守らないわけにはいかない。
3. 日本はアメリカに守ってもらっているのだから、その程度のマイナスはがまんしなければならぬ。
4. アメリカと日本とで互に助けあっているのだから、不平等とはいえない。
6. なし。 6. わからない。

		学年生	1	2	3	4	5	6	B
中 学 校	筑 駒	1 m (117)	89	3	6	—	—	3	—
		2 m (117)	68	8	7	4	3	9	—
		3 m (114)	73	6	8	5	4	2	—
	協 力 校	全m f (164)	52	7	5	12	1	21	2
		m (63)	63	13	10	6	—	8	—
		f (101)	46	3	3	15	1	30	3
高 校	筑 駒	1 m (162)	71	8	7	1	7	3	2
		2 m (146)	64	5	10	5	5	8	3
	協 力 校	1 (260)	64	6	7	6	2	2	3
		2 (159)	65	8	5	8	1	9	3
		m (193)	65	5	10	10	2	7	21
		f (188)	64	8	2	4	2	16	4